

佐志中学校だより

# 東天

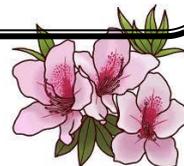
Cha Cha Cha

令和4年5月 第2号

文責：田中 泰博

気づき、考え、実行する生徒になろう

## ～薫風 5月～



風薫る5月。すがすがしい季節がやって来ました。新型コロナウイルス感染症の拡大は、一進一退で高止まりの様相を見せています。学校では、少しでも以前の活動を復活させ、感染予防の工夫をしながら、子どもたちの教育環境と教育活動の実現に努めているところです。先日のPTA 総会も書面決議となり、保護者の皆様と対面できなかったことを残念に思います。そのような中に、今年度初めて取り組みました学校での2者面談においていただき、ありがとうございました。家庭訪問とはまた違った雰囲気でしたが、いかがだったでしょうか。お子様の学習や生活についてじっくりと話すことができたと学級担任から聞いています。面談をきっかけに、今後も学校と連携して子どもたちの成長を見守りたいと思います。

## ～第42回体育大会に向けて～

今年度大会スローガン

# 粉骨砕身

～最後の最後まで前向きに～



『粉骨砕身(ふんこつさいしん)』～最後の最後まで前向きに～のスローガンのもと、いよいよ第42回体育大会に向けての活動が始まりました。結団式では、山口生徒会長が、1人の力では素晴らしいものは完成できない。リーダーだけが頑張っても、意味がない。団のために、

みんなで一丸となって素晴らしい体育大会にしよう！全校120人が頑張っている姿をしっかりと見せていこう！と力強い言葉を述べてくれました。杉岡実行委員長も達成感のある体育大会にすること、赤団の松田団長は、悔いのない思い出に残る体育大会を、青団の濱里団長は、これまで以上の素晴らしく楽しい体育大会にすると話してくれました。3年生にとっては、中学校最後の体育大会です。最後まで前向きに！！頑張りましょう！

## ～生徒会オリエンテーション・部活動紹介～

4月14日(木)に生徒会主催の生徒会オリエンテーションが実施され、新入生に対する生徒会活動の説明と紹介がありました。昨年から取り組んでいるSDGsの説明もあり、協力を呼びかけました。また、後半では、部活動の部長が、新入生を対象に部活動の活動内容を紹介し、入部を呼びかけました。その後、実際に部活動の様子を見学するなど、各部が趣向を凝らし活動の楽しさ、おもしろさを何とか新入生に伝えようと練習風景を披露していました。



## ～あいさつ日本一を目指そう！～

朝、校門に立ち登校してくる生徒たちに挨拶を行っています。先にあいさつをしてくれる生徒、笑顔で気持ちよくあいさつを返してくれる生徒がたくさんいて、佐志中伝統の「立ち止まってあいさつ」をしてくれるのがとても嬉しいです。

挨拶が今のような立礼やお辞儀という形になったのは、奈良時代からだそうです。昔の日本では、高貴な人同士は出会ったときにお辞儀をせずにお互いが自分の両手を叩き、今でいう拍手を行っていたそうです。しかし、身分の違う人同士の場合は、手は叩かずに下位の方が片膝を立てて座ったり、床や地面に両手・両膝をついたりしていたそうです。その後、時代が変わり、身分の違いで挨拶を変えるのは望ましくないということから、立礼に統一されることとなりました。今では、挨拶の仕方も様々ですが、大切なのは笑顔で相手を気遣う気持ちをもって挨拶することです。普段、何気なく口にしている「こんにちは」ですが、「は」と表記するのは、「こんにちは、ごきげんいかがですか」と「こんにちは」の後に「ごきげんいかがですか」と相手への気遣いが続くからです。あいさつはとても気持ちのよいものですね。

## ～6月12日(日)は『唐津市教育の日』です～

今年も「唐津市教育の日」が実施されます。当日は、「授業参観」「ふれあい道徳」が行われます。学年毎に参観の時間帯を設けておりますので、先日配付したプリントにてご確認ください。頑張っている子どもたちの様子をご参観ください。また、3年生につきましては、「進路説明会」を行います。高校受験に向けた内容となります。併せて、6月16日(木)には、「私立高校説明会」を行います。ご参加をよろしくお願いたします。また、ご来校の際は、コロナ感染症の対策を十分に図っていただきますようよろしくお願いいたします。

## ～山邊先生に佐賀県知事より感謝状が贈られました(\*^\_^\*)～

佐志校区で“黒崎医院”を開業なさっている山邊忠厚先生が佐賀県知事より感謝状を贈呈されました。この賞は、様々な分野で中心となってご功績を挙げられた方に贈られるものです。山邊先生は、本校の学校医を永くお務めになられた先生です。また、唐津市医師会にも属され、健康教育にも熱心に取り組まれています。本校においては、昭和51年(1976年)から、佐志中学校の前身である第二中学校時代からの校医を務めていただいています。約半世紀に亘り、本校の生徒たちの健康管理のために尽力され、50年もの月日が経つ中、お父さんやお母さんも山邊先生にお世話になった方がいらっしゃるのではないのでしょうか。現在も生徒に健康講話や職業講話などしていただいております。昨今のコロナ感染症についても、学校としてどのような対策が必要かなど、今も相談にのっていただいております。山邊先生のこの度の表彰を本校としてもたいへん嬉しく思っています。おめでとうございます。



### ちょっといい話 (地域の声から)

小学校の先生から、電話がかかってきました。佐志中の生徒をぜひ褒めてほしいということでした。ある朝、小学生が学校に行けず困っていたところを佐志中の女子生徒が気づき、小学校まで一緒について行ってくれたということでした。小学校の先生方と助けてもらった本人は、とても感謝をしているとのことでした。困っている人を見過ごさず、声をかけてくれた優しい行動を素晴らしいと思います。これからも、同じ校区に住む小学生のよきお手本として、また先輩として頑張ってもらいたいと小学校の先生から嬉しい言葉をいただきました。